

- 資格審査委員 尾花百太郎(長) 外十一名
- 宣言起草委員 生野庄太郎(長) 外十一名
- 議事審査委員 佐藤軍雄(長) 外九名
- 規約審査委員 榎軍吾(長) 外九名
- 役員銓衡委員 榎巖半三郎(長) 外九名

8、祝詞祝電

○祝詞

北田隆治

最近國民は最も暗い生活をしてゐる。此の原因の一是政黨政治の腐敗墮落の結果である。黨利黨略のみを事とし眞の政治をやつてゐない。金權選舉による多數代議士を要する爲に其の費用を財閥等に渡りをつけ幾多の不純なる條件或は情實を以て燃出した、かくて出現したる政府に何が出来るか、墮落と弊害のみである。次は毎年一億

五千萬圓を支拂ふ恩給である。一戸平均拾圓の負擔になる。國家の一端に立つ軍人と日常生命を賭す警察官のみの恩給制度とせよ。安全地帯に働く文官、教育家には必要はない。この費用を以て食ふに食へない被弊のドン底にある農村の救済に充てよと叫ぶものである。斯くすることにより農村は救はれ、國家は安泰となる。

○

樋口岩男

現在の非常時は國際關係のみではない。國內に於て農村の破局的窮乏が非常時である。穀價の暴落、大旱魃の襲來に農村壊滅の危機あり、此の時に當り農村を救ふものは農村の青年より外にない。吾々は農民組合青年部員として農村窮乏打開の爲猛進する。

○

北山玄四三